

令和元年度 地域医療介護総合確保基金（医療分）事業にかかるアンケート

令和元年 南河内在宅医療懇話会

事業名	事業の概要	実施者	事業評価	ご意見
区分1：地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備に関する事業				
【新】 地域包括 ケアシステム 構築支援事業	全市町村が在宅医療推進に戦略的に取り組むことができるよう、ロードマップ作成に向けた支援を行う。	府内 各市町村	意見なし 28 現状維持 4 改善 2 その他 0	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村により、考え方、立地、人口比率等が異なる為、共通した取り組みは不可。基本、個人のドクターの対応で今のところは問題ないと思います。 ・取り組みとしてはよいと考えます。しかし、具体的なロードマップ作成に至る過程が資料からは不明確です。各地域に対して個別支援を行っていくのだと思いますが、その個別支援のあり方についても明確にできればいいのではないのでしょうか。 ・ロードマップを作成し、在宅医療について課題分析ができたとしても医療の提供体制に焦点を合わせた課題であれば、介護の担当課からどのように課題解決の取り組みを図って良いのか分からない。 ・今回モデル地区として複数の市で枠組みを組んでいるが、各市の在宅医療に関する課題が異なるため、複数市でロードマップを作成することは難しいと考える。 ・モデル事業の様子をみたい
在宅医療普及 促進事業	医師会や府内病院に対して、在宅医療の普及促進に向けた研修会の開催を支援する。	大阪府 医師会 府内病院	意見なし 25 現状維持 5 改善 2 その他 2	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みとしてはよいと考えます。しかし、研修の効果、アウトカムをどのように評価するかについての検討も必要かと思えます。 ・医療側視点からの研修会は医療従事者だけでなく、介護関係職員にとっても貴重な機会だと思います。研修対象者の柔軟な対応があればいいのではないかと思います。 ・医師会では毎年1月第4日曜日に多職種連携研修会及びグループワークを行っている。今回ACP及びエンディングノートに関して講習会及びグループワークを行う予定である。 ・当医師会には地域連携室があり、地域の医療介護に係る事柄を定期的に話し合う場を作って、多職種の方々からの意見を聞く組織が出来ています。（当該事業を申込中） ・ACPに関する研修会の開催 ・他市からの参加もあり、ACP・ターミナル医療に関する認識が新たにできた。 ・終活ガイドライン等の冊子発行（河内長野市医師会より借用）
医科歯科連携 推進事業	がん診療拠点病院等へがん患者への口腔管理や連携手法の知識・技術を備えた歯科診療所の歯科医師及び歯科衛生士を派遣し、周術期のがん患者が継続的に口腔管理を受けられるよう、病院スタッフに対する周術期口腔機能管理に係る専門的助言や歯科診療所との連携調整等を実施。また、派遣先のがん診療拠点病院やその他地域病院において、病院スタッフ向け周術期口腔機能管理に係る研修会を実施。	大阪府 (大阪府歯 科医師会に 委託)	意見なし 25 現状維持 5 改善 3 その他 1	<ul style="list-style-type: none"> ・2年目に入り、専門的助言や病院スタッフ向け研修会を実施することにより、病院側との関係づくりが進んでいる。歯科への理解が徐々に深まった。

【自由記載欄】